

“強毒性”の新型インフルエンザ(鳥H5N1等)への備え

「所沢市新型インフルエンザ対策行動計画」を策定しました

今回策定した「所沢市新型インフルエンザ対策行動計画」は、昨年4月に発生した豚由来A/H1N1の新型インフルエンザ(※1)の教訓を含め、今後予測されるウイルスの変異による強毒化への対応や、本来恐れられていた強毒性の高病原性鳥(H5N1)インフルエンザ(※2)が発生した場合を想定し、市の対応についてまとめた計画書です。

発生時期・地域、毒性の強弱の予測は困難ですが、被害を最小限に食い止めるために市の果たす役割を定めました。

この計画書は、保健センター成人保健課、市役所4階危機管理課、同1階市政情報センター、各公民館、所沢出張所、新所沢コミュニティセンター、狭山ヶ丘コミュニティセンター、および市ホームページ(「新型インフルエンザ情報」をクリック)で閲覧できます。

問い合わせ 保健センター成人保健課 ☎2991-1811 FAX2995-1178

◆強毒性インフルエンザでは多くの患者数を想定

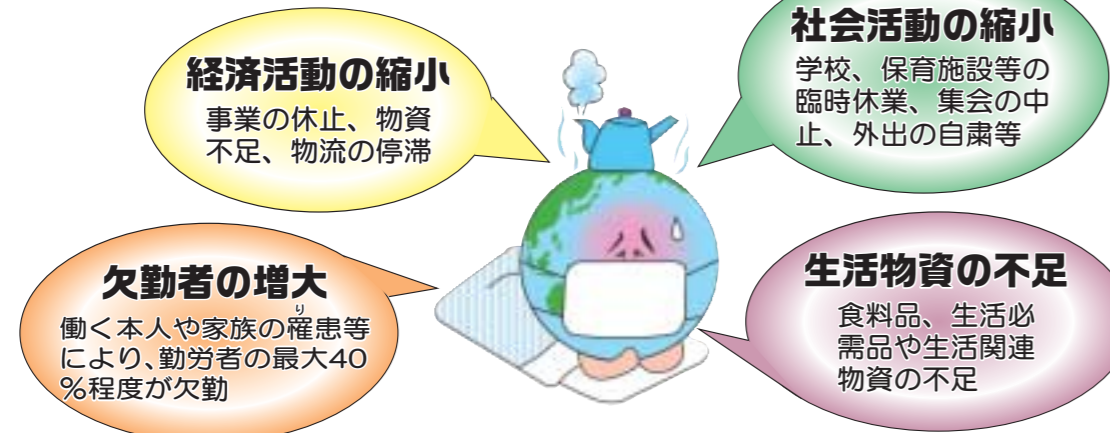
流行のピーク時には入院患者が多数発生すると想定(下表参照)されますが、医療機関において、すべての患者を受け入れることは難しいと考えられます。

■所沢市の想定患者数

医療機関を受診する患者数		約66,000人
流行規模	中等度	想定：致死率0.53%のアジアインフルエンザ
	重度	想定：致死率2.0%のスペインインフルエンザ
	入院患者数	約1,400人
	死亡者数	約450人
	入院患者数	約5,300人
	死亡者数	約1,700人

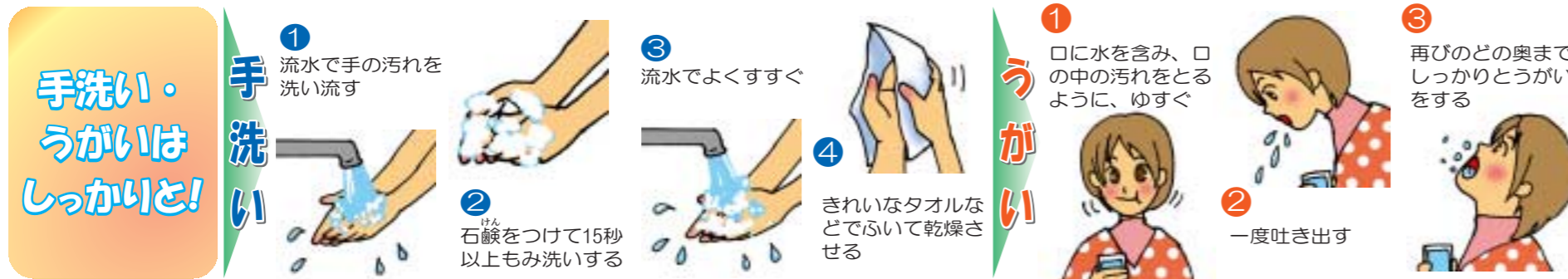
過去に流行した新型インフルエンザ(アジアインフルエンザ、スペインインフルエンザ)を参考に想定した国の推計値を基に、所沢市の人口に当てはめて計算しました。

◆市民生活への影響



各家庭や個人で備えること

- インフルエンザの予防方法(季節型、新型いずれにも共通)**
①手洗いは石鹸を使い流水で、うがいはのどの奥までしっかりと！帰宅時や食事前は必ず実施。
②外出や人ごみの中ではマスクを着用。
③咳エチケット…くしゃみや咳をするときは、ティッシュなどで口をふさぎ飛まつをとばさない！
④人ごみを避ける。
- 家庭での備蓄の目安は約2週間程度**
感染拡大・まん延期においては、感染を避けるために極力自宅で過ごしましょう。また、物資の流通が停滞することが想定されますので、新型インフルエンザの発生前から食料品(長期保存が可能なもの)や生活用品の備蓄、医薬品やインフルエンザ対策物品等を準備しておくことをお勧めします。
- もしかかったら？**
事前に医療機関に確認してから、感染予防をして受診をしましょう。軽症の場合は、自宅で待機することも選択肢の一つです。



※1 豚由来A/H1N1の新型インフルエンザとは？

昨年4月、メキシコで発生し、瞬く間に世界中に広がり、6月には世界的な大流行を示す「フェーズ6」が宣言されました。

日本国内では10代の若者が多く罹患し、全体で100人以上の死者が出ています。

新型インフルエンザウイルスは変異しやすく、毒性が強くなる可能性があります。再流行が考えられますので、引き続き注意が必要です。

※2 高病原性鳥(H5N1)インフルエンザとは？

鳥インフルエンザは、本来は鳥から鳥へ感染するインフルエンザです。しかし、1997年(平成9年)に鳥からヒトへの感染が香港で初めて認められました。日本ではまだ発生していませんが、鳥インフルエンザは感染力、死亡率ともに高く、今後ヒトからヒトへの感染が懸念されます。

◆行動計画の大きな2つの目標

- 1、感染拡大を可能な限り遅らせ、市民の健康被害を最小限にとどめること
- 2、最低限度の市民生活を維持すること

◆発生段階ごとの行動計画

未発生期

発生段階	状態
前段階(未発生期)	新型インフルエンザが発生していない状態

目標 ① 新型インフルエンザの発生に備えた準備行動を計画的に実施する。
② 国内外の情報収集、市民への情報提供に努める。

市は、発生する前から、感染防止の備えができるよう情報を提供したり、マスク・消毒薬などの備蓄を行います。市民の皆さんは、日用品の備蓄などの備えをしておきましょう。

海外発生期

発生段階	状態
第1段階(海外発生期)	海外で新型インフルエンザが発生した状態

目標 ① 国内発生に備えた全庁的な体制を整備する。
② 埼玉県および市内における新型インフルエンザ発生を早期に把握する。

市は国内発生に備え「新型インフルエンザ対策会議」を設置します。また、市民の不安を解消するため、相談窓口を設置し対応します。市民の皆さんは、流行地域への渡航に注意しましょう。

国内発生早期

発生段階	状態
第2段階(国内発生早期)	国内で新型インフルエンザが発生した状態

目標 ① 市内発生に備えた全庁的な体制を整備する。
② 適切な情報提供により混乱を防止する。
③ 感染拡大に備えた医療体制を確保する。

市は、市長を本部長とする「新型インフルエンザ対策本部」を設置し、迅速な対応を図ります。市民の皆さんは、まん延期に備え日用品以外に、保存食品等も備蓄しましょう。

感染拡大・まん延期

発生段階	状態
第3段階(県内・市内で発生)	国内での患者の接触歴が疫学調査で追えなくなった状態
感染拡大期	入院措置などによる感染拡大防止効果が期待される状態
まん延期	入院措置などによる感染拡大防止効果が十分に得られなくなった状態

目標 ① 市内での感染の拡大防止策を実施する。
② 健康被害を最小限に抑える。
③ 医療、社会・経済機能への影響を最小限に抑制する。

市は、市役所の機能を通常業務から新型インフルエンザに対応した体制に移行させ、支援を必要とする世帯への援助や、亡くなられた方の理火葬の対応をします。市民の皆さんは、感染拡大を防ぐため、不要不急以外の社会活動を自粛しましょう。また、医療機関が混雑するため、症状を見極めながら、受診するタイミングを判断しましょう。

小康期・終息期

発生段階	状態
第4段階(小康期・終息期)	ピークを越えたと判断できる状態
小康期	患者の発生が減少し、低い水準にとどまっている状態
終息期	

目標 ① 市民生活の段階的回復を図る。
② 再流行に備える。

市は、各段階で実施した対応を再検討し、新たな発生や、第2波に備えます。市民の皆さんは、徐々に日常生活に戻れるように努めましょう。

◆すべての発生段階で行う対策◆

- 実施体制と情報収集**
- 全庁一体となった取り組みの推進
 - 関係機関との情報交換と連携の強化
- 予防・まん延防止**
- うがい、手洗い等の予防策の市民への周知
 - 社会活動の自粛等の要請
- 医療体制の整備・協力**
- 流行規模に応じた医療体制の整備
 - 関係機関との連携
- 市民生活と行政機能の維持**
- ライフライン等の社会生活の維持
 - 要援護者への生活支援の実施

情報は正しく収集しましょう

新しい情報は、国や県、市のホームページをご参照ください。状況に応じて、行政閲覧や広報ところざわへも掲載します。

- 関係機関のホームページアドレス
- 厚生労働省ホームページ(新型インフルエンザ対策関連情報)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html>
- 国立感染症研究所感染症情報センター(高病原性鳥インフルエンザ関連情報)
http://idsc.nih.go.jp/disease/avian_influenza/index.html

- 埼玉県ホームページ(新型インフルエンザ関連情報)
<http://www.pref.saitama.lg.jp/A04/BU00/newinflu/top.html>
- 所沢市ホームページ
<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp>
- 新型インフルエンザに関する問い合わせ
- 埼玉県所沢保健所 ☎2903-1777 FAX2929-4664
- 保健センター成人保健課 ☎2991-1811 FAX2995-1178
- 危機管理課 ☎2998-9399 FAX2998-9042
- 埼玉県新型インフルエンザ相談センター(夜間、土・日曜日、祝日のみ) ☎0570-06-9777 (IP電話からは ☎048-822-5979)